

埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書

1 整備計画概要

医療機関名	所沢リハビリテーション病院
所在地	所沢市中富1016
整備（増床）病床数	30床
（医療機能別内訳）	回復期機能

2 開設年月：令和4年4月

3 病床整備による地域医療課題への対応目標

○ 今回の回復期増床につきましては、より多くの患者にリハビリテーションを提供し在宅復帰を促進すること、急性期病院の平均在院日数の短縮に貢献することを目標としています。

高稼働率（令和3年度病床稼働率96.6%）により、満床などで受入できなかったこともありましたが、現在は順調に受け入れ出来ており、令和4年4月～6月の入院患者は135名（前年同期93名）と増加しております。

より適切な医療を提供するために、増床前より脳神経外科医1名を常勤採用しました。その成果もあり実績作成の段階ではありますが、在宅復帰率（増床棟）に関しては100%を維持しております。

また、急性期病院の平均在院日数の短縮への貢献では、常勤医を3名から5名に増員したことにより、1日に受け入れられる入院患者数も増え、スムーズな入院調整が可能となりました。まだ増床後の運営は3ヶ月ですが、近隣高度急性期病院からの入院も増加しており、増床前よりも多くの急性期病院に貢献できると考えます。

入院受け入れの課題として挙げていた感染症や精神疾患・認知症の受入も個室を新設したことにより解消できることと思います。

今後は、前述の目標に邁進し、更なる地域医療の貢献に尽力していきたいと考えております。

4 他医療機関・施設等との連携・協議状況

年月	相手方	連携・協議内容
2022年6月	防衛医科大学校病院 他	(地域医療連携検討会)「今改めて考える栄養管理」と題し、医療機関毎の取り組みについて情報交換しました。
2022年3月	埼玉医科大学国際医療センター他	(地域医療連携懇話会)「免疫チェックポイント阻害薬」についての講演、情報共有しました。
2022年2月	防衛医科大学校病院 他	(地域医療ミーティング)病診連携の一環として、急性期から在宅までの経過やリハビリ訓練内容について症例検討実施しました。

5 その他（地域での医療連携での取組、新型コロナウイルス感染症の影響など）

○ 西部医療圏での医療連携を強化するため、地域における医療連携会やミーティングには積極的に参加したいと考えております。

新型コロナウイルス感染症の影響は軽微で、職員の家庭内感染等はありませんでしたが、院内における患者への感染はありません。今後も感染対策をしっかりと実施し、院内感染防止に努めてまいりたいと考えます。